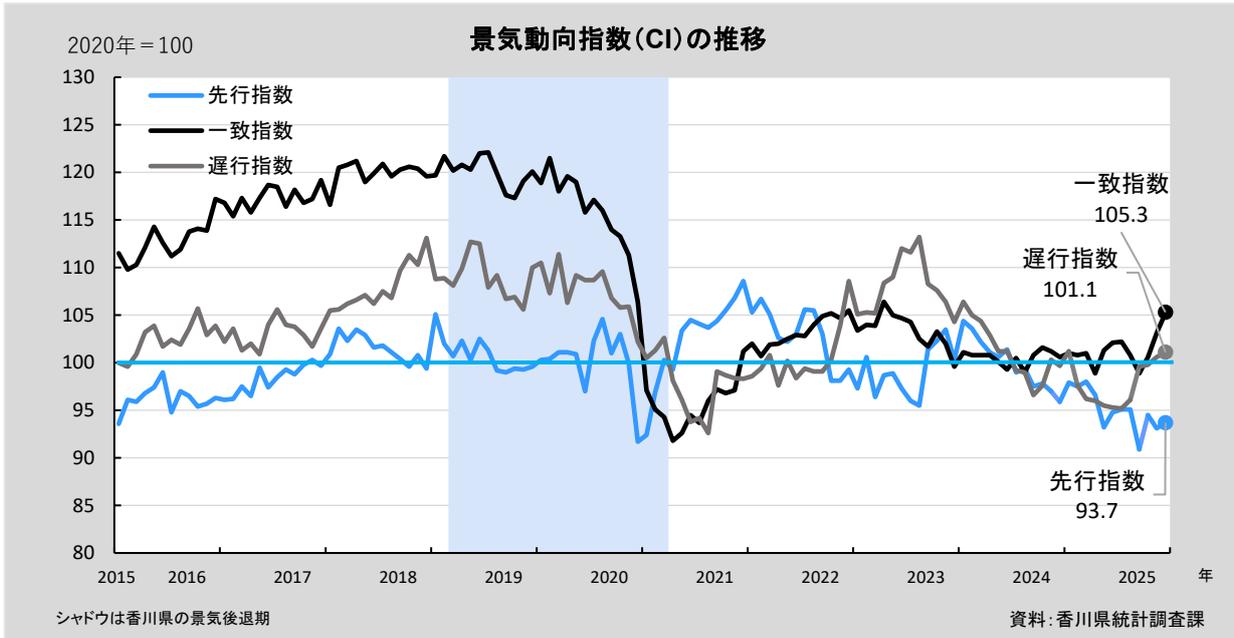


概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに弱さがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 3カ月連続上昇



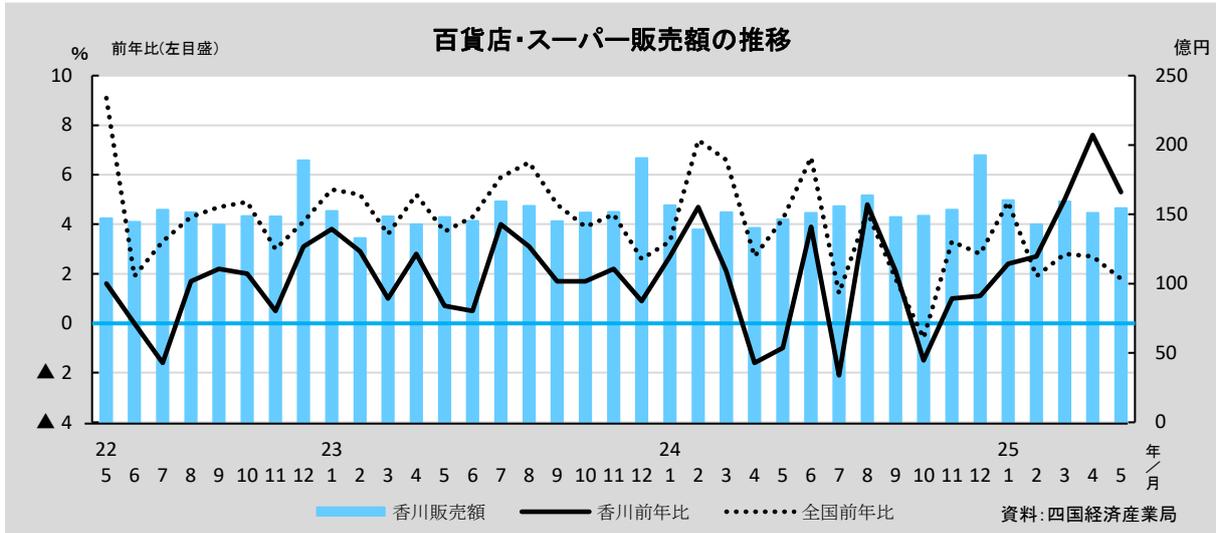
景気の現状をみると、4月のCI一致指数は105.3（前月比+2.2ポイント）と3カ月連続で上昇。CI先行指数は93.7（同+0.6ポイント）と2カ月ぶりに上昇。CI遅行指数は101.1（同+0.5ポイント）と5カ月連続で上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、雇用保険受給者実人員、鉱工業出荷指数等が上昇に寄与し、前月から2.2ポイントの上昇となった。

採用景気指標	先行系列		一致系列		遅行系列	
	寄与度		寄与度		寄与度	
1 新規求人数	0.04	1 雇用保険受給者実人員	1.33	1 常用雇用指数	▲ 0.13	
2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	0.39	2 有効求職者数	▲ 0.28	
3 鉱工業在庫率指数	1.96	3 所定外労働時間指数	0.37	3 消費者物価指数	0.24	
4 新設住宅着工戸数	▲ 0.19	4 鉱工業生産指数	▲ 0.54	4 家計消費支出	▲ 0.47	
5 金融機関貸出残高	0.92	5 鉱工業出荷指数	0.76	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.68	
6 消費者態度指数	▲ 2.07	6 建築着工床面積	▲ 0.49	6 法人事業税調定額	1.50	
		7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.35	7 第3次産業活動指数	0.37	

●百貨店・スーパー販売額

7カ月連続増加 ↑

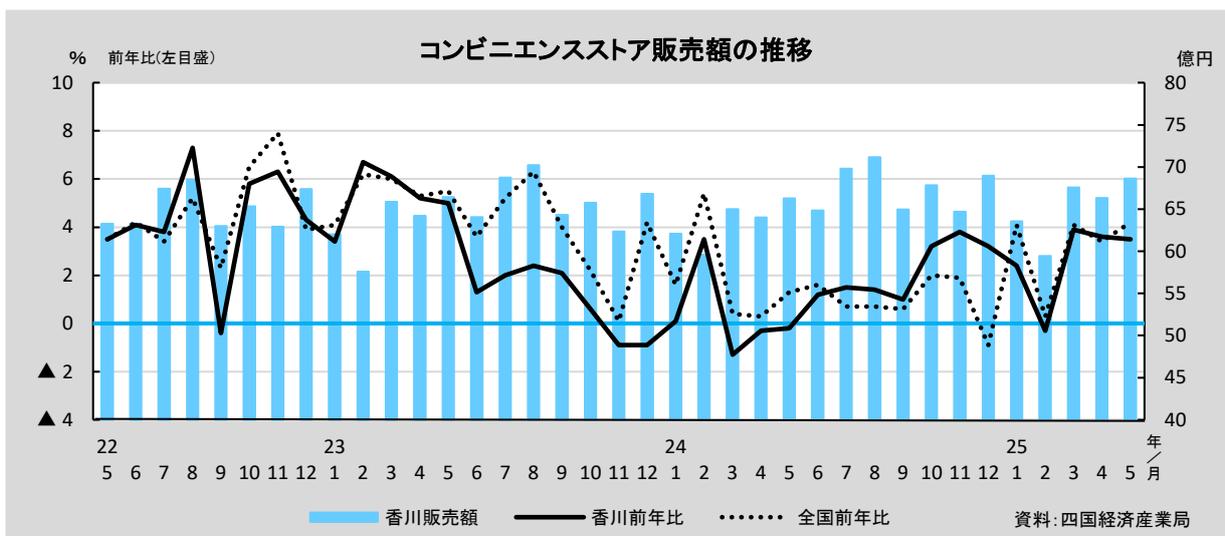


2025/5月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	102,872	59,570	1,158,073	2,210	3,960	67,697	148,430	471	1,543,283
前年同月比(%)	▲3.8	▲11.1	7.9	12.6	▲3.1	▲1.7	4.0	▲5.0	5.3

5月の百貨店・スーパー全店(89店)の販売額は154.3億円で、前年同月比+5.3%と7カ月連続で増加した。「飲食料品」は米の価格上昇が売上を押し上げる傾向がみられたほか、冷凍食品や総菜が堅調に推移したことなどから、同+7.9%と前年を上回った。一方、「身の回り品」は同▲11.1%、「衣料品」は同▲3.8%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

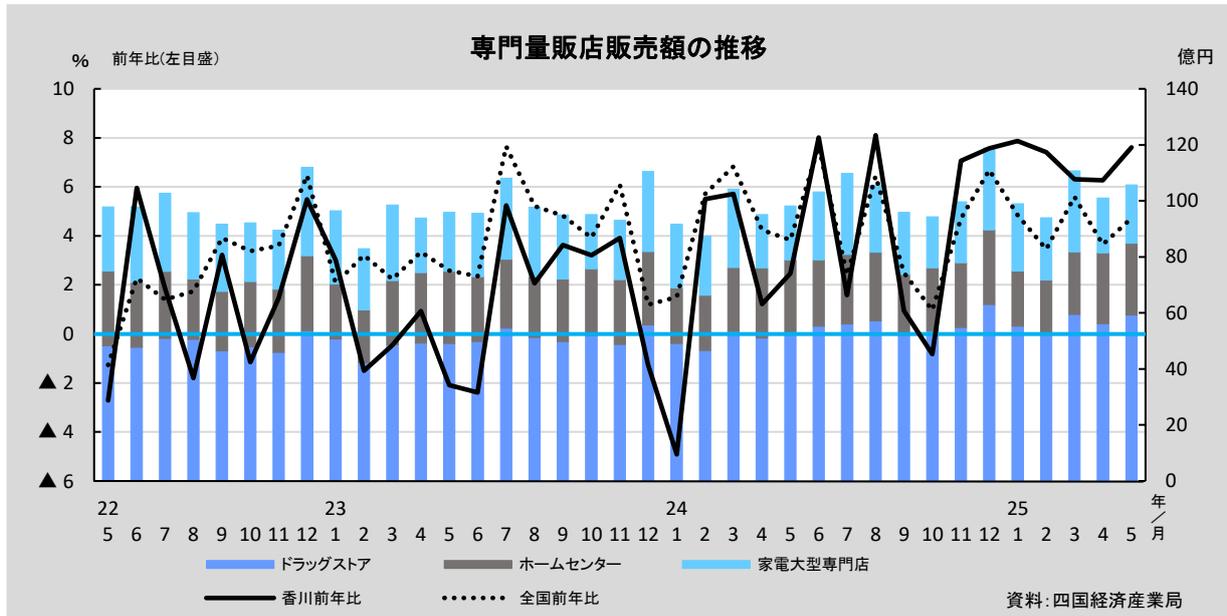
3カ月連続増加 ↑



5月のコンビニエンスストア全店(407店)の販売額は68.6億円で、前年同月比+3.5%となり、3カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

7 カ月連続増加 ↑

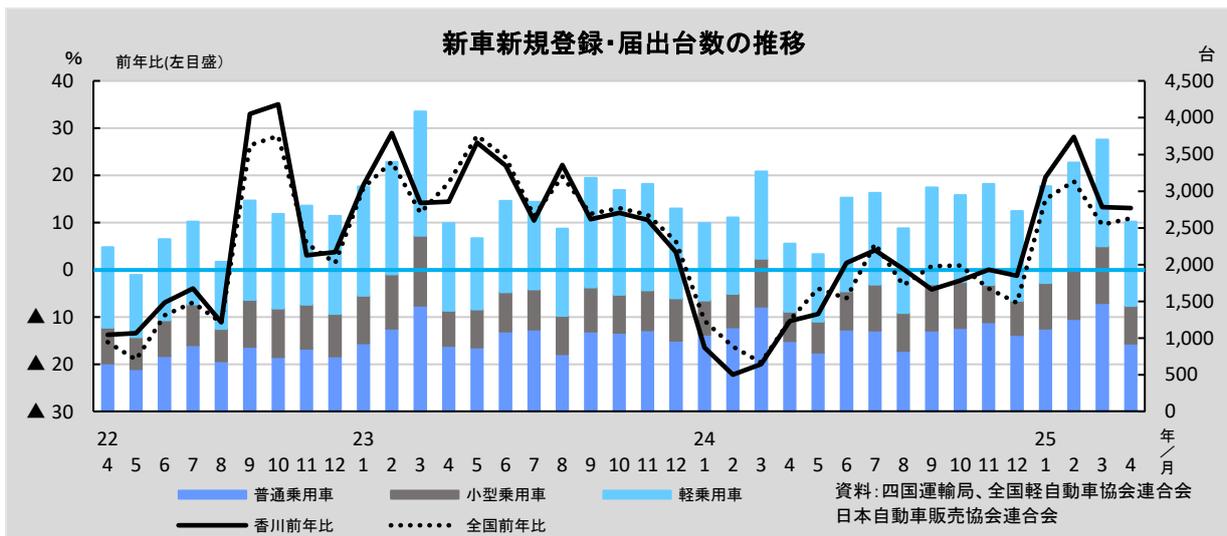


5月の専門量販店全店（230店）の販売額105.7億円で、前年同月比+7.6%と7カ月連続で増加した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（27店）の販売額は20.8億円で前年同月比+7.7%となった。**ドラッグストア**（157店）の販売額は、59.3億円で同+11.2%となった。**ホームセンター**（46店）の販売額は、25.6億円で同+0.1%となった。

●新車新規登録・届出台数

4 カ月連続増加 ↑



4月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,586台で、前年同月比+13.1%と4カ月連続で増加した。

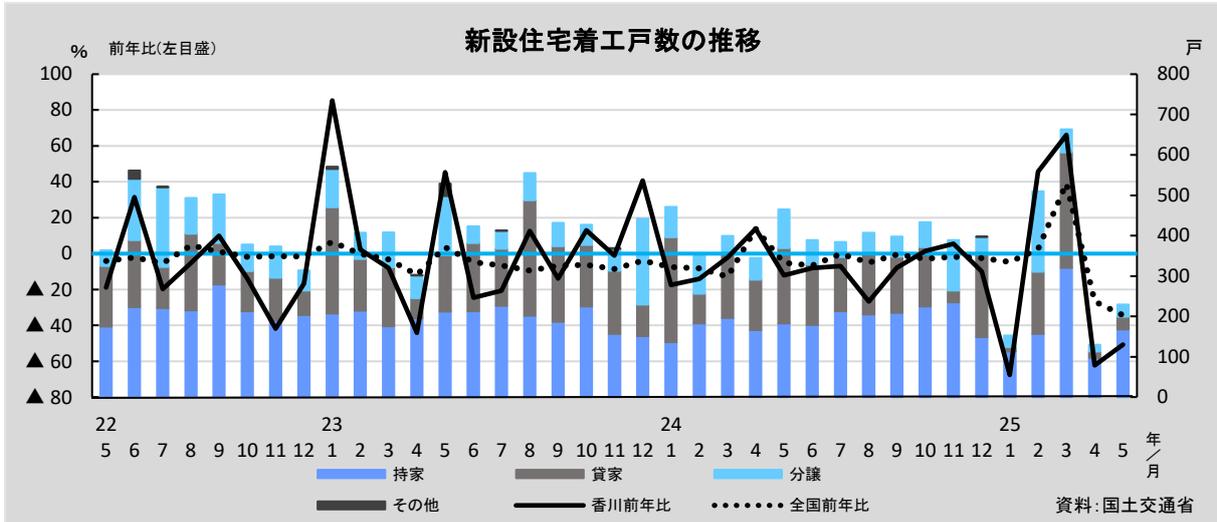
車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲3.3%、小型乗用車は同+28.3%、軽乗用車は同+23.7%となった。

住宅投資

低調に推移している

●新設住宅着工

2 カ月連続減少 ↓



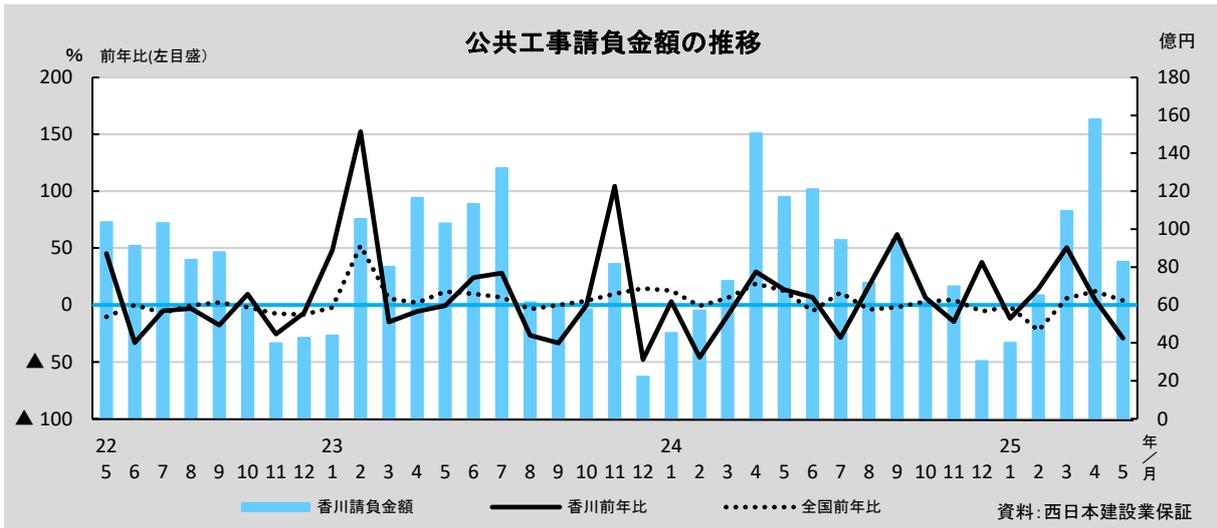
5月の新設住宅着工戸数は229戸で、前年同月比▲50.8%と2か月連続で減少しました。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲8.2%、**貸家**で同▲83.3%、**分譲住宅**で同▲68.8%となった。

公共投資

持ち直しの動きに弱さがみられる

●公共工事請負金額

4 カ月ぶり減少 ↓



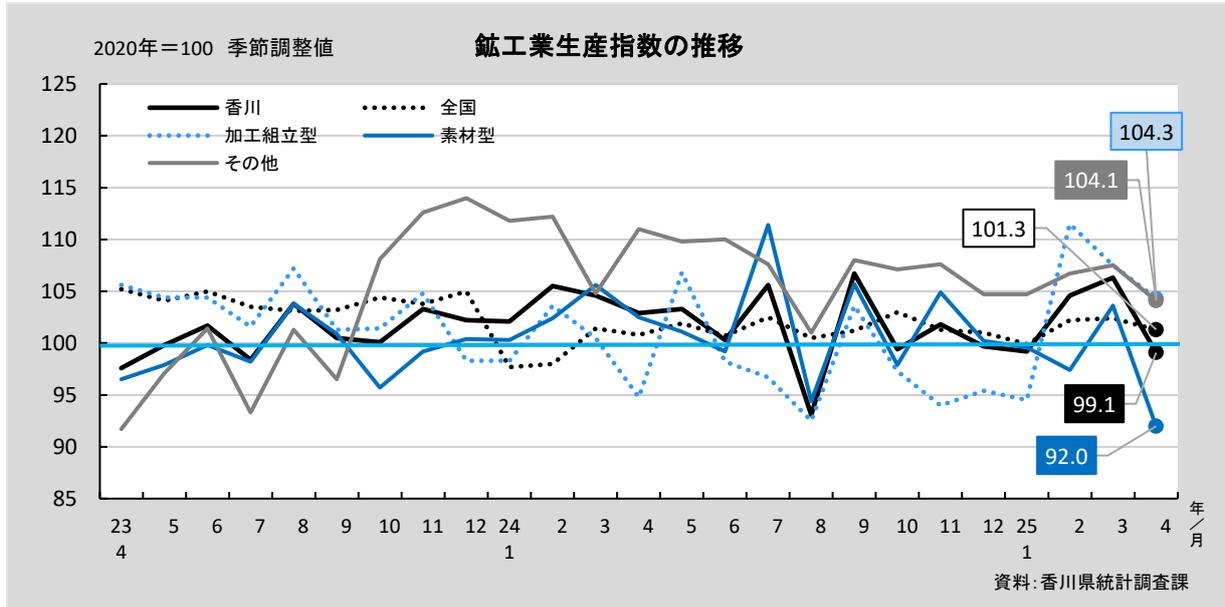
5月の公共工事請負金額は82.8億円で、前年同月比▲29.2%と4か月ぶりに減少しました。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+49.7%、**県**で同▲80.0%、**市町**で同+23.4%となった。2025年度（4～5月）の累計では前年同期比▲10.0%と減少している。

生産活動

横ばい圏内の動きとなっている

● 鉱工業生産指数

3 カ月ぶり低下 ↓



4月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は99.1（前月106.3）となり、3カ月ぶりに低下した。

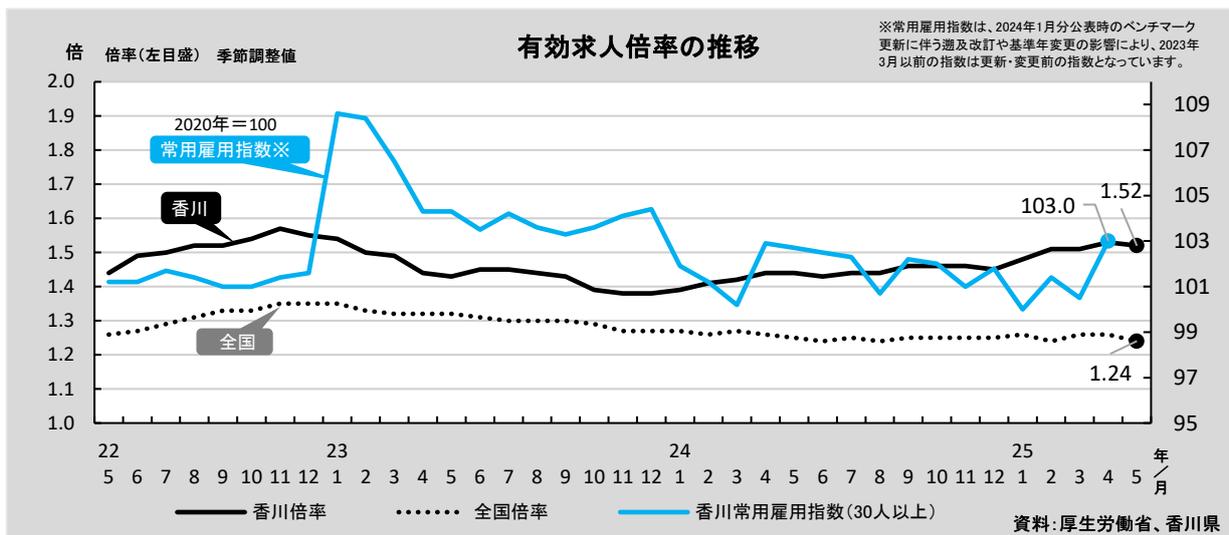
業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（塩化物など）は前月比▲28.5%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同▲8.4%と低下した。一方、素材型のプラスチック製品工業（フィルム・シートなど）は同+9.7%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり減少 ↓



5月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.52倍（全国4位）で前月より0.01ポイント低下した。

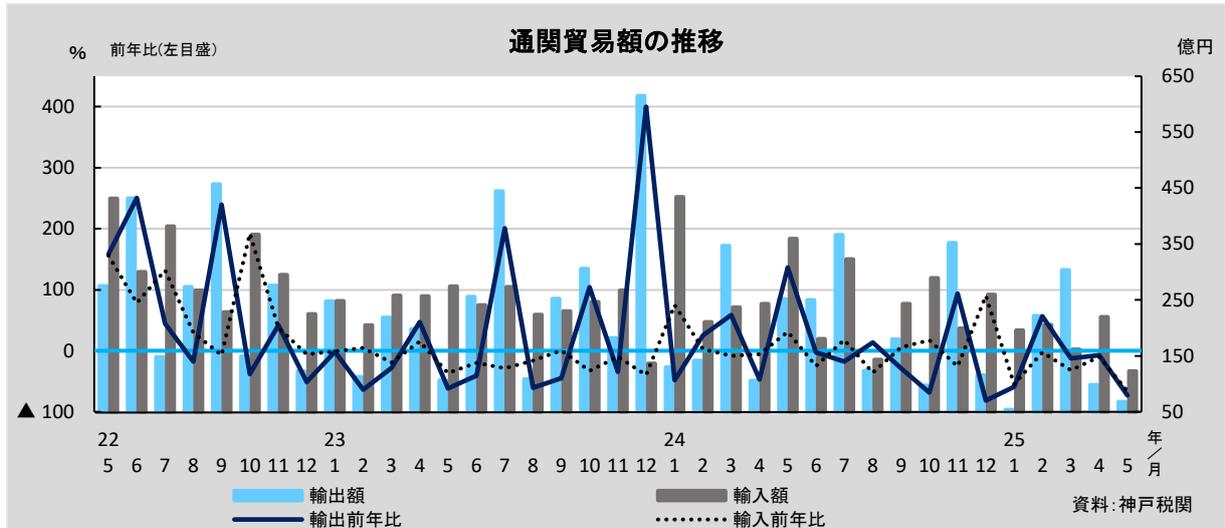
新規求人（原数値：前年同月比）は、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業、複合サービス事業等で減少となり、全体で▲4.2%と2カ月連続で減少した。

4月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.0となり、前年同月比は+0.1と3カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.05
事務的職業	0.62
販売の職業	2.49
サービスの職業	3.21
生産工程の職業	2.41
輸送・機械運転の職業	2.38
建設・採掘の職業	6.96
運搬・清掃・包装等の職業	1.24

貿易

輸出、輸入ともに減少している

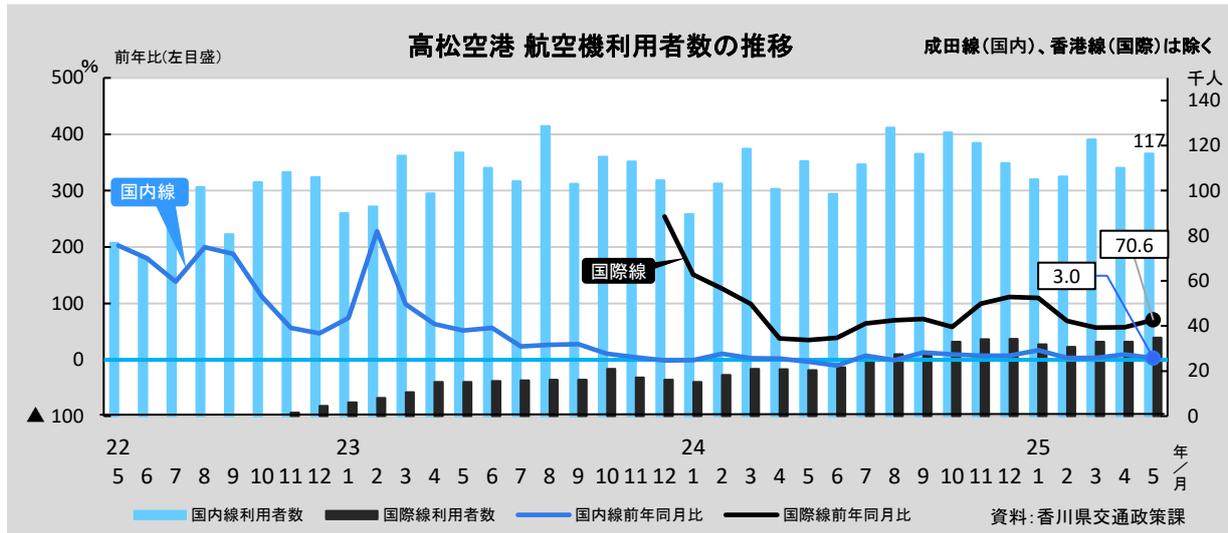


5月の輸出額は前年同月比▲72.9%の68.4億円、輸入額は同▲65.8%の122.8億円となり、差し引き54.4億円の入超となった。輸出は前年150億円だった貨物船輸出額がゼロとなり減少に寄与した。輸入は、前年155億円だった石炭輸入額がゼロとなり減少に寄与した。

交通

国内線は9カ月連続増加、国際線は19カ月連続増加

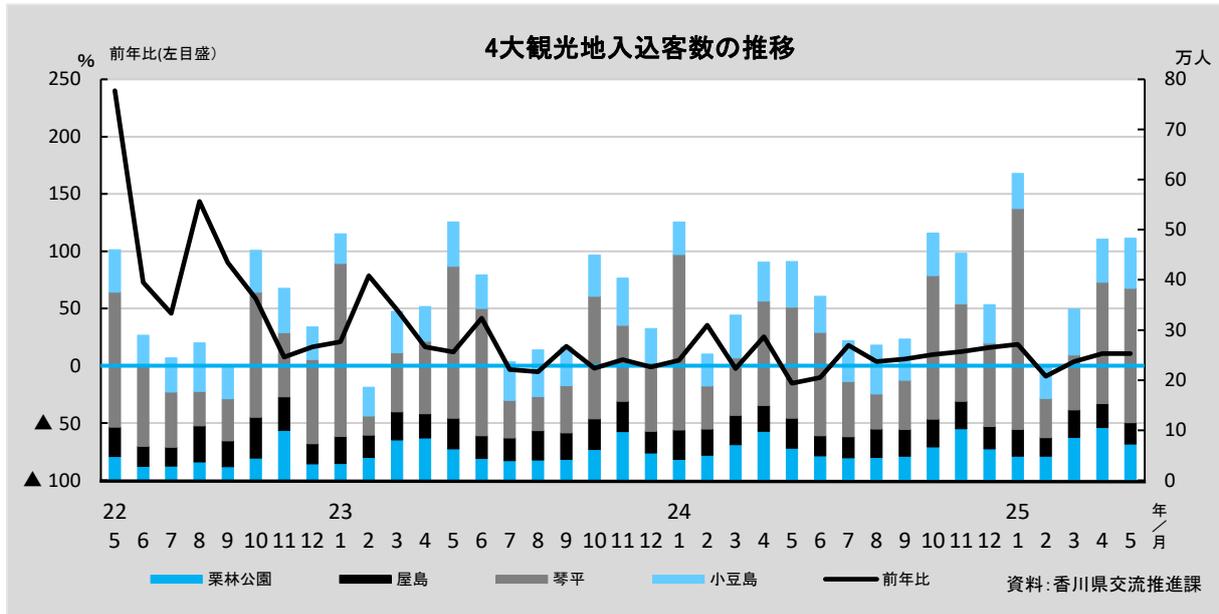
●高松空港旅客輸送実績



5月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が116,506人(前年同月比+3.0%)となり、9カ月連続で増加した。羽田線は105,365人(同+6.7%)、那覇線は11,141人(同▲22.2%)となった。

国際線は、ソウル線20,838人(同+96.3%)、上海線6,094人(同+42.6%)、台北線7,857人(同+42.8%)で合計34,789人(同+70.6%)と19カ月連続で増加した。

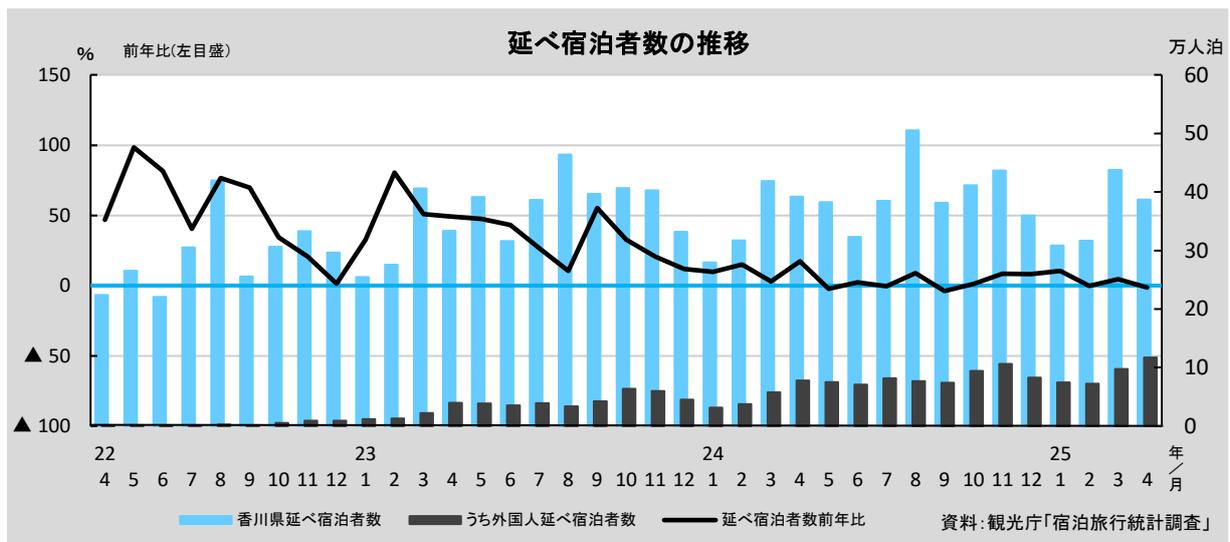
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計
5月(人)	前年同月比	72,752	42,637	268,000	99,832	483,221
		13.5%	▲28.6%	20.7%	9.6%	10.6%
1~5月累計(人)		360,134	235,925	1,138,000	413,483	2,147,542
		10.7%	▲15.9%	16.0%	8.2%	9.1%

5月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+10.6%と3カ月連続で増加した。栗林公園は前年同月比+13.5%、琴平は同+20.7%、小豆島は同+9.6%と増加した。一方、屋島は同▲28.6%と減少した。2025年(1~5月)の累計では前年同期比+9.1%となった。

●延べ宿泊者数



4月の延べ宿泊者数 387,260 人泊で、前年同月比▲1.2%と2カ月ぶりに減少した。うち、外国人延べ宿泊者数は 117,080 人泊となり、前年同月比+50.1%と33カ月連続で増加した。